

研究部ニュース 2020年度第1号

2020年7月17日(金)

発行者：研究部（松本、松田、中井、西田、大原、小森）

平素は本校の教育及び研究活動にご協力いただきありがとうございます。休校措置明けたった2ヶ月の1学期ですが、教育活動と並行して研究活動も始動させました。今回の研究部ニュースは、今年度の研究の取り組みを紹介させていただきます。

本校研究主題（学部研究）

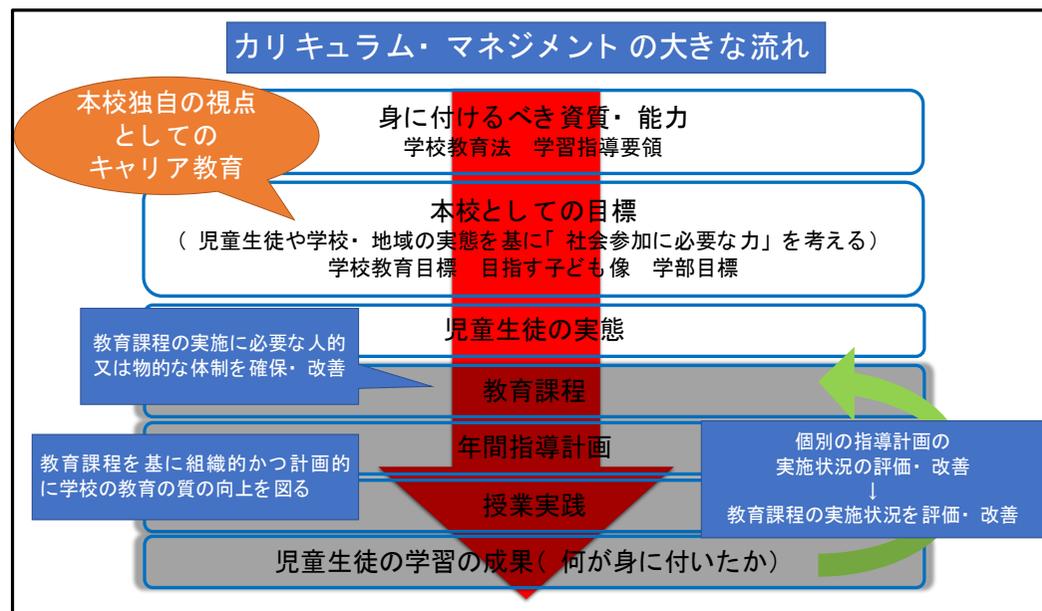
知的障害教育におけるカリキュラムマネジメントの運用とキャリア教育の推進

昨年度設定した研究主題で、今年度は2年目を迎えます。今年度から小学部で新学習指導要領による教育が全面的にスタートします。この新学習指導要領には、「社会に開かれた教育課程」と謳われています。複雑化・多様化する社会を生きていくために、必要な教育を施さなければなりません。特に特別支援学校では卒業後に社会で生活する姿を思い描き、それぞれの学校においてどのような教育を行うことが適当なのかという基本的な考え方を明確にした上で教育課程編成を行わなければならないと文部科学省は述べています。そこで昨年度は各学部における教育目標を新学習指導要領に示された「3つの資質・能力」毎に設定し、それらの実現に向けた教育課程の編成を行いました。また、進路支援部と協働して「附属版キャリア・マトリックス」を作成しました。キャリア教育の観点を入れた各学部卒業段階で目指す姿を示しました。

今年度はこの「附属版キャリア・マトリックス」を活用しての事例研究

及び授業研究を進めていきます。目指す姿に向かっていくためには、どのような教育内容が必要か、適切な支援の提示の仕方、授業の構成の仕方等を踏まえながら、設定した教育課程が子どもたちに寄り添ったものなのかの検証を今年度は進めていきます。

特に事例研究につきましては、各学部から2名児童生徒を抽出して進めていきます。対象になられたお子様の保護者の方には改めて説明する機会を設けさせていただきます。ご協力よろしくお願いいたします。



カリキュラム・マネジメントの流れ図

ユニット研究・個人研究の推進

学部研究に加えて、特別支援教育の今日的課題に対応するためにユニット研究・個人研究にも取り組みます。5つのユニットによる研究を進めています。それぞれ「身体運動」「読み書き指導」「インクルーシブ教育」「どろんこプロジェクト(造形)」「プログラミング教育」と多彩なテーマで研究を進めています。これらの研究は本学特別支援教育部門等の先生方と共同研究を進めて参ります。

また本校は研究校であることから、個人研究も推奨しています。教員の研究に対するニーズは高く、今年度は7人の教員がそれぞれのテーマを設定し、研究を進めます。

平野五校園共同研究の研究主題

一人ひとりの多様な可能性を広げる評価のあり方 - 主体性を育むための目標及び 評価指標の作成と活用をめざして -

本校は大阪教育大学附属学校園の1校であり、平野地区に所属しています。平野地区には、幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校があります。この五校園で共同研究に取り組んでおり、これを「平野五校園共同研究」と呼んでいます。

これまで、各学校園が重視している教育課題について相互理解を深め、校園種を越えた教員間の「連携」「交流」を確かなものにするという趣旨の実践を行ってきました。このような取り組みにより、各校園の実情に合わせた実践研究に重点をおけるようにしながらも、過去の取り組みによって培われ実現してきた校種間での風通しの良さを保ち、教員間でお互いの教育観・研究・教育環境・子どもの実態をよく知ることができました。

平成30年度からは「一人ひとりの多様な可能性を広げる評価のあり方 - 主体性を育むための目標及び評価指標の作成と活用をめざして - 」と設定し、3年計画で研究を進めています。今年度は最終年に当たり、主体性を育むための評価指標（略称「主体性コモン・ルーブリック」）の完成をめざします。

新型コロナウイルス感染症拡大の観点から、今年度11月に予定されていた平野五校園共同研究発表会は中止となりました。大変残念ではありますが、皆様にはこの紙面で研究成果を報告できたらと思います。

令和2年度 本校における研究体制

